

年頭のあいさつ



下妻市長
菊池 博

今後も市民に寄り添う生活支援対策を実施してまいります。

災害に備えて

あけましておめでとうございませう。皆様には、希望に満ちた輝かしい新年をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。また、平素より市政各般にわたり、深いご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年は新型コロナウイルス感染症の世界的な蔓延、感染拡大により四月には国の緊急事態宣言を受けた不要不急の外出自粛や学校の休校などをはじめ、東京2020オリンピックが延期されるなど社会経済や市民生活に大きな影響を及ぼしました。マスクの着用や様々な行動自粛が生活様式となる中、一日も早く市民の皆様が不安が解消され、安心して日常生活を送ることができるよう感染症の収束が来ることを願うとともに、

昨年、「令和2年7月豪雨」により九州、中部、東北地方をはじめ、広範な地域において甚大な被害がもたらされました。近年の気候変動による多発化、激甚化する災害の対応に向けては、迅速で正確な情報伝達が不可欠であることから、防災行政無線や防災アプリを補完するため、屋内受信機を導入し確実な伝達手段の多重化を図ってまいります。

また、災害時における避難所の開設運営は極めて重要であることから、感染症対策を踏まえた環境整備として、総合体育館や千代川体育館に順次、エアコンの設置をしてまいります。

本市は、保育所等の待機児童の解消を子育て支援の重点施策として位置付けておりますが、本年度から少人数を対象とした家庭的保育事業を開始いたしました。さらに、本市の福祉政策が高齢者や障害者に優しいものとなるよう制度の拡充に取り組んでまいります。

「選択と集中」の徹底 今日、地方の財政は人口減少などの構造的な要因に加え、新型コロナウイルスによる国内経済の低迷で一段と厳しさを増しております。

にぎわいを創出するまちづくり

本市は、保育所等の待機児童の解消を子育て支援の重点施策として位置付けておりますが、本年度から少人数を対象とした家庭的保育事業を開始いたしました。さらに、本市の福祉政策が高齢者や障害者に優しいものとなるよう制度の拡充に取り組んでまいります。

工業団地の誘致につきましては、鯨工業団地が完売し、エステイローダーカンパニーズをはじめ、大手企業3社の進出が決定いたしました。

本市にとりましては、地域経済の活性化や雇用の拡大、若い世代の移住定住など本市のイメージアップにも大きく寄与するものと期待をいたしております。

地域公共交通においては、「シモンちゃんバス」に加え、下妻駅から筑西市の川島駅までを結ぶ「筑西・下妻広域連携バス」の運行を開始したところであり、今後も公共交通網の充実を図るため、隣接するつくば市や八千代町との連携を検討してまいります。

また、地域格差が顕在化し、地方の活力が失われつつある中、まちのにぎわいをつくり支えるため、「Waikaidoしもつま」や「砂沼広域公園」などの既存ス

このような中、新規事業の厳選や事業継続の見直しによる「選択と集中」を徹底しながらも、市民の皆様へのニーズを的確に把握し、市政の発展に希望を繋ぐ事業や身近な施策を展開してまいります。また、本年三月一日より窓口業務の利便性向上のため、コンビニエンスストアなどで、印鑑証明書や住民票謄本などの証明書の自動交付を開始いたします。

写真：都市計画道路「南原・平川戸線」(大宝八幡宮北側付近)本紙7Pもご覧ください。

しもつま鯨工業団地が全区画完売 大手企業に選ばれる 下妻市 高まる期待

大手企業3社の進出決定 造成完了から1年半で完売

市内鯨地内に一般財団法人下妻市開発公社が整備し、平成30年に造成完了した「しもつま鯨工業団地」。全体で約30ヘクタールの土地に3区画の工業用地を販売してきました。圏央道や常磐道へも好アクセスという立地条件も大きな魅力となり、世界的な高級化粧品

の優良企業であるSMCや三五関東、岡部などが相次いで製造拠点を新設するなど、多くの企業に下妻市が選ばれています。

女性・若手雇用 移住定住に期待

これまで立地した企業も含め、さらには今後、しもつま鯨工業団地に進出する3社の

エステイローダーが工場建設に着手



菊池市長とELCジャパン株式会社代表取締役社長のマシュー・グラウドン氏(起工式にて)

世界的な高級ビューティーケア商品メーカーであるエステイローダーカンパニーズの新しい生産工場が、しもつま鯨工業団地の北側1号区画(10、2ヘクタール)に新設されることとが決定しました。エステイローダーカンパニーズは、高品質のスキンケア、メイクアップ、フレグランス、ヘアケア製品をお届けする世界有数の化粧品製造・販売企業であり、同社の製品は世界約150の国と地域で販売されています。

今回の計画は、アジア太平洋地域における新しい生産拠点となる工場とともに、グローバル日本法人におけるサブライチエーションに関わる本社機能も建設される予定となつていま

下妻市に集まる 注目と好機 しもつま鯨工業団地の完売により、市内9カ所の工業団地は全て分譲済みとなります。

企業による雇用機会の拡大や税金などの経済活性化において、市に大きな効果をもたらすことが期待されています。